



Yokohama Arts Foundation

令和6年2月2日  
(公財)横浜市芸術文化振興財団  
大佛次郎記念館

## おさらぎじろう きむらしやうはち テーマ展示『大佛次郎と木村莊八 —作家と画家、そして猫』

横浜・港の見える丘公園内の大佛次郎記念館では、横浜生まれの作家・大佛次郎（1897-1973）と、多彩な活躍をした画家・木村莊八（1893-1958）が組んだ小説と挿絵の仕事と、2人の交友を紹介するテーマ展示を開催しています。



木村莊八「霧笛」第54回挿絵原画  
1933年、個人蔵【2/20～展示】

### 【第1章 作家と画家、小説と挿絵】

横浜について現地を巡って調査した大佛と、江戸文化や明治風俗を愛し知識も豊富だった莊八。2人は幕末から明治初期にかけての文明開化期の横浜・東京を舞台とした作品で、小説家と挿絵画家として何度もコンビを組みました。『霧笛』『幻燈』などの大佛作品や、雑誌エッセイに莊八が寄せた、情感あふれる挿絵原画約10点を展示中。

### 【第2章 作家と画家、無類のネコ好き】

大佛と莊八は大の愛猫家。2人が顔を合わせれば、互いの猫の数を尋ね合ったとか。猫の様子を伝える莊八の手紙、大佛愛蔵の莊八による猫の肉筆画、莊八がコレクションしていた「猫のおもちゃ絵」など、当館所蔵の莊八資料から、猫に関わるものを公開。



木村莊八《猫の湯屋》水彩画  
制作年不詳、個人蔵【2/20～展示】



木村莊八による  
猫のイラスト（部分）  
1955年、当館蔵  
【2/18まで展示】

開催中の展示① 1階ロビー  
【大佛次郎×ねこ写真展2024】

開催中の展示② 2階愛蔵品コーナー  
【大佛次郎が創刊した雑誌  
『苦楽』をめぐる画家たち】

開催中の展示③ 2階展示室  
【激流 ～渋沢栄一の若き日】

大佛による渋沢栄一の伝記小説「激流」コーナー。莊八の挿絵（複製、一部原画）に、引用を添えて紹介します。

会期	2023年12月16日(土)～4月14日(日) 前期 ~2024/2/18(日) 後期 2/20(火)～4/14(日)	料金 大人(高校生以上) 200円(150円)、 中学生以下 無料 ( )内は20人以上の団体料金 ※横浜市在住の65歳以上の方 100円 ※毎月23日「市民の読書の日」と第2・第4土曜日は高校生無料 ※障がい者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は無料
開館時間	3月まで 10:00～17:00 (入館は16:30まで) 4月 10:00～17:30 (入館は17:00まで)	
休館日	月曜日(祝休日の場合は翌平日) 1/30(火)、2/6(火)、2/7(水)	

※当展示会の情報掲載をよろしくお願ひします。取材の際は事前にご一報ください。広報用画像の提供が可能です。

お問い合わせ先

大佛次郎記念館【公益財団法人横浜市芸術文化振興財団】

館長:吉原瑞恵 展示担当:金城瑠以 広報担当:大房奈央子 TEL:045-622-5002 Mail:osaragi@yaf.or.jp

大佛次郎没後50年記念 2023年度テーマ展示Ⅱ

# 大佛次郎と木村莊八

## — 作家と画家、そして猫

大佛次郎 (1948年)、木村莊八 (1949年) 撮影:林忠彦



Osaragi Jiro (1897 - 1973)



Kimura Shohachi (1893 - 1958)

楽しく仕事し 二人ともだんだんトシをとりました

2023年12月16日(土)～  
2024年 4月14日(日)

同時期  
開催

「大佛次郎×ねこ写真展2024」  
2024年1月10日(水)～4月14日(日)

開館時間 3月まで 10:00～17:00(最終入館16:30)  
4月から 10:00～17:30(最終入館17:00)

休館日 毎週月曜日(祝休日の場合は翌平日)、年末年始(12/29～1/3)、  
臨時休館 ①2024/1/30(火) ②2/6(火) ③2/7(水)

観覧料 一般/200円 中学生以下/無料 20名以上の団体は150円

\*横浜市内在住の65歳以上の方は100円。(濱ともカード等をご提示ください)  
\*障がい者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は無料。  
\*毎月23日(市民の読書の日)と第2、第4土曜日は高校生以下無料。

大佛次郎記念館 (公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団) The Osaragi Jiro Memorial Museum

〒231-0862 横浜市中区山手町113(港の見える丘公園内)

TEL:045-622-5002 FAX:045-622-5071 <http://osaragi.yafjp.org>

協賛 株式会社浦辺設計/大佛次郎研究会/株式会社ボンパドウル/横浜高速鉄道株式会社/横浜市金属建具工事協同組合



# 大佛次郎と木村荘八

— 作家と画家、そして猫 —

2023年12月16日(土)～2024年 4月14日(日)

\*会期中、展示替えをおこないます。

洋画家・木村荘八(1893-1958)は、大佛次郎の小説に多くの挿絵を寄せました。

二人は、『霧笛』や『幻燈』をはじめとする幕末・明治初期の開化期横浜・東京を舞台とした作品で何度もコンビを組みました。それぞれが「楽しく」仕事をこなし、互いに作品を高め合う存在でした。

展示では、当館が所蔵する木村荘八の挿絵原画のほか、木村の没後、遺族から大佛に贈られた「猫のおもちゃ絵」など、「無類のネコ好き」同士でもあった二人の交流の跡を紹介します。

## 第1章：作家と画家、小説と挿絵



「霧笛」第54回 挿絵原画  
「東京朝日新聞」夕刊ほか掲載  
1933年 個人蔵



「火花の街」第8回 挿絵原画  
「週間朝日」掲載  
1936年 当館蔵



「幻燈」第45回 挿絵原画  
「新大阪」掲載  
1947年 当館蔵



「幻燈」初版本  
1948年5月 井原文庫刊  
(装幀・挿絵 木村荘八)

## 第2章：作家と画家、無類のネコ好き



木村荘八「猫の湯屋」  
大佛次郎旧蔵  
個人蔵



木村荘八書簡  
大佛次郎宛  
1955年12月9日消印 当館蔵



木村家から大佛次郎に贈られた「猫のおもちゃ絵」  
歌川よし盡「志ん板ねごづくし」(右は部分)  
1892年 当館蔵



## 関連事業

※各事業の詳細は、当館HPにてご確認ください。

**横浜にぎわい座**  
大佛次郎没後50年特別企画  
「猫尽くし 再び 名作落語の夕べ」  
愛猫家・大佛次郎にちなんだ「猫尽くし」の落語会。三遊亭萬橘「猫と金魚」、三遊亭兼好「猫餅」、古今亭志ん輔「猫忠」のほか、猫をテーマにした音曲を桂小すみが口演し「猫尽くし」を彩ります。  
【会場】横浜にぎわい座 芸能ホール  
【日時】2024年3月2日(土) 18:00開演(17:30開場)  
【料金】3,200円(全席指定)  
【申込方法】2023年12月27日(水)発売開始(電話、ホームページ10時～、窓口11時～)  
【問い合わせ先】045-231-2515(10:00～20:00)

**1階ロビー**  
「大佛次郎×ねこ写真展2024」  
毎年おなじみ、ねこの公募写真展示。会場での人気投票も実施します。  
【会期】2024年1月10日(水)～4月14日(日)

**2階サロン**  
動画「大佛次郎と猫」  
約7分、随時放映。制作：小宮山壮、2023年

**2階閲覧室前**  
大佛次郎記念館 愛蔵品コーナー  
「大佛次郎が創刊した雑誌『苦楽』をめぐる画家たち」  
終戦直後の被占領下、大佛次郎が発刊した雑誌「苦楽」。永井荷風「腕くらべ」(画：山下新太郎)、里見淳「多情仏心」(画：小穴隆一)など、雑誌の人気企画「名作絵物語」に寄せられた挿絵の油彩原画を中心に展示します。  
【展示解説】第2土曜日14:00～約30分  
【たてものミニ・ミニトーク】第3土曜日14:00～約15分



電車 ●みなとみらい線(東急東横線直通)で: 元町・中華街駅下車(元町方面改札)  
6番出口(駅直結のエレベーター・エスカレーターを利用、アメリカ山公園経由)  
5番出口(谷戸坂経由) いずれも徒歩8分  
●JR根岸線で: 石川町駅下車(元町口) 徒歩20分  
バス ●神奈中11系統(桜木町～保土ヶ谷駅東口)  
●市営バス20系統(桜木町駅～山手駅)  
●観光スポット周遊バス「あかいくつ」  
いずれも「港の見える丘公園前」下車、徒歩2分。

## 大佛次郎記念館 The Osaragi Jiro Memorial Museum

(公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団)

〒231-0862 横浜市中区山手町113(港の見える丘公園内)  
TEL: 045-622-5002 FAX: 045-622-5071  
http://osaragi.yafjp.org